令和８年

11

Nov.
第４７２号

図書館だより

しらかば

図書館だよりのタイトルは小樽市の木シラカンバ（シラカバ）にちなんで命名。

市立小樽図書館
〒047-0024　小樽市花園 5-1-1
TEL（0134）22-7726／FAX（0134）34-0733
https://www.otaru-lib.jp/

休館日■黒い枠

11月　図書館カレンダー　10月15日現在

日 Sun	月 Mon	火 Tue	水 Wed	木 Thu	金 Fri	土 Sat
1	2	3 祝日開館	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23 祝日開館	24	25	26	27	28
29	30					

行事などの最新情報はこちらをチェック！

小樽図書館　検索

ホームページ　Facebook

Instagram　YouTube

◇開館時間

火～金は午前９時半～午後７時まで
土・日・祝日は午前９時半～午後５時まで

◇休館日

11月

月　曜　日　２日・９日・１６日・３０日
館内整理休館日　２７日（金）
※祝日（１１／３文化の日、２３勤労感謝の日は開館いたします）

12月

月　曜　日　７日・１４日・２１日・２８日
館内整理休館日　２５日（金）
年 末 休 館 日　２９日～３１日（年始１／４まで休館）

12月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

予約ベスト５

（　）の人数はＲ８．１０．１０現在の予約人数です。

◎けんぐぁい	（朝倉 かすみ）	（71 人）
◎イン・ザ・メガチャーチ	（朝井 リョウ）	（57 人）
◎誰　　何	（伏尾 美紀）	（53 人）
◎暁　　星	（湊 かなえ）	（53 人）
◎永遠の記憶	（東野 圭吾）	（50 人）

今月のおすすめ本

書名の前の数字は分類番号です。



９１４．６「作家とおやつ」

平凡社編集部 編

「作家と犬」など、１つの題材をテーマに、様々な時代とジャンルの作家との関わり方やその思いを綴った作品集の第６弾。ここではおやつをテーマに、子供の頃の思い出のお菓子や、日々の創作活動や闘病生活の中に一服の癒しと楽しさをもたらしてきたであろう「甘いもの」についてのエッセイ、詩、写真など５９篇が収められています。表紙は白玉ずんだ製作中の宇野千代。手でペロリと食べる姿が無邪気で可愛らしい。

（Ｋ・Ｈ）



ハート職人、今夜も夜なべ？

「自業自得、ですの？・・・」の巻

そういえば、我が家の命綱、大切なエアコンの冬支度はどうするのがベストなのだろうか。図書館では冬期間、室外機に専用のグレーシートを被せている。我が家の室外機はベランダの壁に取り付けてもらった。ベランダの除雪はかなり大変。ちょっとでも楽をしたい。そんなわけで壁に設置したのだ。グレーシート的なモノを被せるとなると脚立が必要。我が家には２種類ある。どちらもステップはかなり不安定。そもそも脚立はなぜ幅が狭いのだろうか。もっと安定性のある作りであるべき。そんなことを言っても、結局、安価な物を買うわけだから自業自得なのだけど。さっそくアイちゃんに聞いてみた。エアコンも暖房として使うことが出来るという。そうだった。取説に書いてあった、そういえば。だけどどうなのだろうか。ここは北国、小樽のまちョ。エアコンで暖をとることはないかも知れない。しかし、灯油が不足した場合はどうだろうか。非常手段として必要かも。しかし、しかしだ。積雪が半端ない日が結構ある。室外機は大丈夫だろうか。再度アイちゃんに聞いてみたら、「寒冷地仕様ですか？」という。確かに寒冷地仕様ではあるが、暖房はメインではないタイプを選んだ。予算の都合上だ。前年度も今年度も予算を上回る急な出費に悩ませられた我が家。専用シートにも優劣があるに違いない。命がけで設置するわけだから、丈夫な物にしたい。風雪に耐えうる専用シート探しが始まったわけだ。できるだけ割引特価であって欲しい。「防雪フード」という物もあるらしい。ああ悩む、今日この頃。悩んでいるうちに冬が終われば良いのだけれど…。そうは問屋が卸さない。なのか？



小説類

静かだけど、冒険中。
2026・第80回 読書週間
10/27～11/9

「朝焼けキッチンカー」秋川 滝美 著
朝方の駅前ロータリー。早朝のみ営業するという一味変わったコンセプトのキッチンカー「アルバ」には、夜間に働く看護師やトラックドライバー、朝まで飲んだくれたよっぱらいなどがやってきて…。



「森田繁子と腹あんばい」 河崎 秋子 著
マラソン大会に見え隠れする地元の牧場とのトラブル、作物泥棒…。謎に満ちた農業コンサルタント・森田繁子が、農業に潜むままならない問題を、ズバっと解決いたします！

「隠元」 澤田 瞳子 著
すべてを諦めてきた混血の孤児。彼の目の前にあらわれたのは、日本中の注目を集める高僧・隠元禅師だった。遠くて近い、２人の師弟関係の行く末とは…。



「誰が首」 住田 祐 著
織田家重臣・明智光秀と年若い腹心・左馬助のもとに、信長の命令で六条河原に晒していた浅井・朝倉の首級が盗まれたと火急の報が届いた。光秀は首級をすげ替えることにするが…。明智家の命運を懸けた隠し事が始まる。

「泡」 辻 仁成 著
恋人アカリと、雑居ビル最上階のプレハブで暮らしているしゅう。彼女の様子が最近おかしいことに気づき訊ねると、まったく想像していなかった答えが返ってきて…。

「夏蚕（なつご）の翅（はね）」 冬島 いのり 著
北海道の小さな港町で暮らす姉弟。ふたりは異端者の子として迫害され、やがて暴力を伴う依存関係へと陥ってゆく。すべてに先立つ愛はあるのか。著者は札幌出身。

「かわよこ食堂」 またり 鈴春 著
三途の川のほとりにある「かわよこ食堂」。そこは、人生の最期に訪れ、人それぞれの思い出ご飯が振る舞われる場所。懐かしい味とともによみがえるのは…。一皿の料理とともに、胸の奥にしまっていた感情がそっとほどけていく。



「弾丸とヒマワリ」 箕輪 尊文 著
女子高生が自宅で銃殺され、その手にはＰＫＯに参加した自衛隊員に授与された名誉のメダルが握られていた。自衛隊を退官し、ピザ屋の配達員として働く本庄恵梨香は重要参考人として警察にマークされ…。

「深川かたぎ」 山本 一力 著
加賀前田家当主の斉泰が散歩中に足をくじいた。治療を依頼された染谷と昭年は前田家上屋敷に急行するが…。江戸の凄腕鍼灸師・染谷と漢方医・昭年を中心に描く長編時代小説。

随　筆





「暮らしの信じ方」古賀 及子 著
自分らしさはこれまでの日々や、思いがけずつかんできた選択の中にあるかもしれない…。日常に隠れた主義を巡りながら、今日を生きる自分を肯定するエッセイ。

「しろとくろの偏愛」 千早 茜 著
何も入らない満腹時でも餅を見ると手が伸びるし、チョコが食べられなくなったら私という存在は死ぬ…。今すぐ食べたくなる餅とチョコ、口福に満ちたエッセイ。

その他

書名の前の数字は分類番号です。

９２９．１「ハロー、ベイビー」
キム・ウィギョン 著
治療の新米からベテランまで、様々な不妊歴のプレママたちは秘密厳守のトークルームで励まし合うが…。子どもを産みたいと切に願う、不妊治療専門病院で出会った女性たちの希望と葛藤を描く、韓国発の長篇小説。



９３３．７「時計職人の娘」上下
ケイト・モートン 著
エロディが勤める会社で見つかったスケッチブック。そこにはエロディの母が語り聞かせてくれた物語の一軒家が描かれていた。やがて、人々の記憶から消えた一人の画家と、非業の死を遂げたその婚約者の存在が…。

新着一般書

書名の前の数字は分類番号です。



００７．１「部下としてのＡＩ」牛尾 剛 著
「失敗を自動化せよ」「可能性は絞り込む」…。どんなＡＩモデルにも応用できる＜生産性を１０倍ブーストする＞技術と思考法を紹介する。プロンプトをダウンロードできる二次元コード付き。「ｎｏｔｅ」掲載を大幅に加筆修正。

１８８．５「空海読んだら、人生変わった」
渡辺 祐真 著
空海の考え方は、思考のフレームをまるごと変えてしまうほど衝撃的だった…。「即身成仏」など仏教の最重要キーワードから、悩みを解決してくれる「空海的思考」まで、空海の面白さを詰め込んだ、空海＆仏教入門。

２９２．５「エベレストは居酒屋です」
渡邊 直子 著
職場でも家庭でもない、第３の居場所の作り方とは。日本人女性で初めてヒマラヤの８０００m峰全１４座に登頂した著者が、死なないための生き方や、シェルパとの生活で変わった人生観など、ヒマラヤで得た学びを伝える。

３６８．６「地面師連絡役カトウ」
河合 桃子 著
週刊誌の女性記者である著者はあるきっかけで「積水ハウス５５億円詐欺事件」の実行犯カトウと出会う。カトウが語った地面師たちの犯行とは。丹念な取材で詐欺師集団のリアルを描きカトウの人生に迫ったノンフィクション。



４９１．３「知って得する、体内時計のはなし」
中村 孝博 著
月曜日の朝がつらいのはなぜ？シフトワークはがんのリスクが高い？同じ食事でも時間帯によって肥満に？生物の根源に関わる機能を持つ「体内時計」の役割を、研究成果を例に科学的かつわかりやすく解説する。

５７６．７「トコトンやさしいメイクアップ化粧品の本」
江連 智暢 著
様々な成分が含まれ、そこに多くの技術が詰まっているメイクアップ化粧品。それらをひとつひとつ解き明かし、どのような技術をもとに作り上げられているのかを、イラストとともに解説する。

７２６．１「ながい窖（あな）」
手塚 治虫 著
戦前から戦後にかけての在日朝鮮人の姿を通し、忘却された歴史や差別の実態を描き出した手塚治虫の全集未収録作「ながい窖」を、作品の時代背景を精緻に紐解く解説を付して掲載。手塚治虫の現代性を捉え直す。



７６４．７「評伝福居良」
栗山 慎二 著
知る人ぞ知る存在だったジャズ・ピアニスト福居良。死後にその音楽は海外から再発見され、瞬く間に広まった。旅芸人一家での幼少期、２２歳で始めたピアノでレコードデビューしたいきさつなど、福居の人生を詳らかにすると共に、彼の音楽の魅力に迫る。



８１５．１「「注文の多い料理店」はなぜ曖昧か」
西山 佑司 著
グリム童話や日本の昔話など、多くの人が知っている児童文学のなかから有名な表現をいくつかとりだし、意味と解釈にかかわる問題を考察。子どもが無意識のうちに持っている、言葉の意味についての深い知識を浮き彫りにする。

９１０．２「私の中の山岡荘八」
山内 健生 著
雪深い新潟・魚沼地方の農家に生まれ、裸一貫で上京して、文字通り腕一本筆一本で世をわたった山岡荘八。歴史小説に一分野を築いたその実像を実の甥が振り返り、知られざる真情に迫る。追記・解説も収録する。

児童資料

「ねこのおしごと」　星野 萌 著
「いま、しごとちゅうだから」 どれどれ、一体ねこはどんなおしごとをしているのかしら？みんなが知っているおしごとも、「えっ？」と意外なおしごとも、ねこはねこなり、いっしょうけんめい…。ねこのおしごとのおはなし。

「学校を休んだ日は本をひらいて」清 繭子 著
小説家・金原ひとみ、現役医学生・ぎん太、芸人・山田ルイ５３世…。不登校や学校が苦手だった経験がありながらも、今は自分らしく人生を歩んでいる著名人が、当時の思いを伝えるとともに支えとなった本を紹介する。

「ワニわらう」　内田 麟太郎 著
もしもおまえが星になったら　わたしは星のうしろをさがそう　星のうしろにかくれているおまえをさがそう（「いっしょに」より）
子どもにもわかる言葉で、真実の世界をうたう詩集。

「たるばとクラブ」

たるばとクラブは、おはなし会や工作、アニメの上映など、図書館に来るのがもっと楽しくなる時間です。
日　時】**いずれも土曜日　午後２時～３時**
①１１月７日　②１１月２１日
③１２月５日　④１２月１９日
【場　所】①②③図書館１階　児童室えほんコーナー
④図書館２階　視聴覚室
【対　象】どなたでも　【申込み】不要
【内　容】①③「たるＢＯＯＫのかみしばい」
「たるBOOK」の皆さんによる紙芝居と工作。
協力：たるBOOKの皆さん
②「秋のごちそう　いただきます！」
秋の食べ物をテーマにしたおはなし会と工作など。
④「たるばとクリスマス」
クリスマスにちなんだおはなし会と工作など。

「乳幼児向けおはなし会　たるぴよタイム」

絵本の読み聞かせや手遊びなどのおはなし会です。
【日　時】**いずれも金曜日　午前１１時～11 時半**
１１月６日、１３日、２０日
１２月４日、１１日、１８日
【場　所】図書館１階　児童室えほんコーナー
【対　象】乳幼児とその保護者　【申込み】不要

「ぐぅちょきぱぁのおはなし会」

「おたる子ども劇場ぐぅちょきぱぁ」の皆さんによる絵本の読み聞かせや紙芝居などの楽しいおはなし会です。
【日　時】**１２月９日（水）**
午後３時半～４時
【場　所】図書館１階　児童室えほんコーナー
【対　象】どなたでも　【申込み】不要



郷土資料

書名の前の数字は分類番号です。

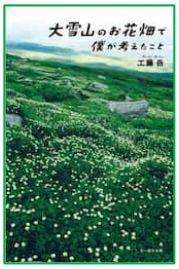
読書週間 2026 10・27～11・9

Ｈ２１１．７「ニセコ誕生物語」
読売新聞北海道支社 著
北海道ニセコ町の発展の礎を築いたのは、明治の功臣で高円宮妃久子殿下の高祖父・曾我祐準だった。祐準の生涯と「曾我農場」の歴史を紹介する。高円宮妃久子殿下のインタビューも収録。

Ｈ４７１．７「大雪山のお花畑で僕が考えたこと」
工藤 岳 著
北海道の中央に広がる大雪山の短い夏は、氷期からの記憶を宿す高山植物の宝庫。厳しい環境に生きる植物とそこに集う生物たちをずっと見続けてきた生態学者による、気づきの記録。

Ｈ６１１．７「水田転作と石狩川下流域」
坂下 明彦 著
水活交付金見直しに揺れる北海道の水田農業の特徴を、統計による構造分析とルポルタージュによる実態把握から明らかにするほか、最も転作率が高い石狩川下流域・長沼町の水田農業に密着し、水稲単作経営からの脱却の道を示す。







行事予定　11月



展示

「犬の日」（資料展示）

【日　時】１１月１日（日）～１１月１５日（日）
【内　容】１１月１日の犬の日にちなんで、犬に関する図書を展示・貸出し
【場　所】図書館１階 カウンター前

「この冬も無事故で」（資料展示）

【日　時】１１月１３日（金）～１１月２２日（日）
【内　容】交通事故防止に役立つ図書を展示・貸出し
【場　所】図書館１階 カウンター前
【協　力】小樽市生活環境部 生活安全課

読書週間とは？

公益社団法人読書推進運動協議会ホームページによると、１９４７（昭和２２）年、「読書の力によって、平和な文化国家を作ろう」という決意のもと、出版社・取次会社・書店・公共図書館・マスコミ機関等で開催を決定。１１月１７日から第１回読書週間が開催されました。その反響は素晴らしく、翌年の第２回からは、文化の日を中心にした２週間、１０月２７日から１１月９日と定められ、後に『読書週間』が始まる１０月２７日が、「文字・活字文化の日」に制定されました。

「人形劇の会」

【日　時】１１月３日（火・祝）午後２時～３時
【内　容】おたる子ども劇場人形劇サークル
ぐぅちょきぱぁの皆さんによる人形劇
「さるかにばなし」「へっこきよめさま」
【対　象】どなたでも
【場　所】図書館２階 視聴覚室

郷土資料展
「マッチ　小さないつかの想い出」

【日　時】１１月２８日（土）～１２月１７日（木）
【内　容】小樽市内の喫茶店や居酒屋のマッチを中心に、道内各地の店舗、銀行、農協のマッチを展示し、合わせて北海道の喫茶店や居酒屋に関する本を展示
【場　所】図書館１階 エントランス



「がん検診に行こう！～肺がんについて～」（市民講演会）

【日　時】１１月１９日（木）午後１時半～３時
【内　容】保健師や看護師などの専門職を講師に迎え、がん検診の重要性やがんに関する正しい知識について学びます。
【対　象】高校生以上
【定　員】３０名（先着）
【場　所】図書館２階 視聴覚室
【申込み】１１月１日（日）から１３日（金）までに図書館、保健所、小樽市立病院内の専用申込ＢＯＸ、または小樽市立病院ホームページからお申込みください。
【主　催】小樽市立病院
【共　催】市立小樽図書館、小樽市保健所